

男らしさ、 女らしさってなんだろう？

小学校・4～6年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）

＝【人権感覚育成のための視点】

性差に関する固定的な思い込みに気づき、性のあり方は多様であることを理解することを通して、他者のあり方を尊重しようとする態度を育成する。

◇関連する個別の人権課題「様々な人権問題（性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ）」

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）

3 人権教育上の視点

（1）性のあり方などは多様であり、人によって違うことを理解する。
（知識）

（2）社会の中にある固定的な思い込みや先入観に気づき、その人のあり方や価値観の多様性を大切にしようとする。（価値・態度）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

男の子、女の子のそれぞれ好きそうな色と、実際のクラスでの調査結果を比較する。

○活動2

「男の子のよさ」「女の子のよさ」について考え、意見交換をする。

○活動3

本時の学習を振り返るとともに、「性のものさし」で自分自身を振り返る。

2 準備するもの

○ワークシート1、2

○「好きなにじの色は？」クラス調査結果（事前に調査し結果をまとめておく）

○提示資料（性のものさし）

3 アクティビティの進め方

○活動1 「好きなにじの色は？」

- ① ワークシート1について、男の子、女の子それぞれの吹き出しを完成する。
- ② ワークシート1の意見発表後、事前に行ったクラスの「好きなにじの色は？」の調査結果を提示し、比較する。

○活動2 「男らしさ、女らしさってなんだろう？」

- ① 個人でワークシート2「男らしさ、女らしさってなんだろう？」に取り組む。
- ② グループでワークシート2について、意見を交換する。
- ③ 男女それぞれの「らしさ」が入れ替わっても違和感のないものがあることを確認する。

○活動3 「振り返り」

- ① 性のあり方は多様であり、人によって違うことを理解する。

○活動4 「性のものさし」

- ① 「性のものさし」を用いて、自分はどの位置にいるのかを確認する。

4 アクティビティを指導する際のポイント

- 性のあり方の多様性を尊重する学習を通して、文化や価値観の多様性を尊重し、共生しようとする姿勢を育むため、性のあり方だけにとどまらず、児童が多様性を尊重できる考え方を広げていけるように心がける。
- 「男の子のよさ」「女の子のよさ」をそれぞれ考える際、例えば「男の子のよさは、元気なこと」を「女の子のよさは、元気なこと」にするなど、具体的に置き換えることで、性差に関する固定的な思い込みに気付かせ、一人一人の個性や能力を発揮して自らの意思で行動できることをおさえる。
- 最後の「性のものさし」は、自分はどの位置にいるのか分からない、秘匿にしたい児童もいる。また、指導する教師も同様である。「性のものさし」の例示については、特定の児童や教師ではなく、架空の人物とする。また、友達「性のものさし」について聞いたり推測したりしないよう指導する。

(例)

からだの性	女	男
こころの性	女	男
表現する性	女	男
好きになる性	女	男

自分はどこに位置しているか、その目盛の位置を心の中で確認します。

- 例えば、年度の半ば以降など学級の人間関係が構築された時期や、体育の「体の発育・発達」の学習の時期などに実施すると効果的である。

第1章 理論編
 第2章 事例編
 人間の尊厳
 生命尊重
 自己尊重の感情
 共感と連帯感
 公平・公正
 多様性の尊重・共生
 コミュニケーション
 権利と責任
 参加・参画
 第3章 資料編

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
8分	1 好きな虹の色についての協議 T 好きな虹の色を答える話を完成させましょう。 C 男の子／女の子は○色かな。 T 今、ワークシートに書いた色と、クラスの男女別「好きなにじの色」の調査結果を比べましょう。 C 男の子は青が好き、女の子は赤が好きと書いたけれど、クラスの結果は違う。	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ男の子／女の子は○色が好きなのか理由を尋ね、固定的な性へのイメージを明確にする。 ・固定的な性へのイメージと実際のクラスの調査結果には差があり、好きな色に男女という性は関係ないことを確認する。
男らしさ、女らしさってなんだろう？		
25分	2 男の子のよさと女の子のよさ T あなたが思う「男の子のよさ」「女の子のよさ」について、自由に書いてみましょう。 C 男の子のよさは、外で遊ぶこと。 C 女の子のよさは、文字をきれいに書けること。 3 グループでの話し合い T 男らしさ、女らしさについて、自分が感じたことをグループで発表し、意見を交換しましょう。 C ボール遊びを元気にすることが、男の子のよさだと思う。 C 女の子だってボールで遊ぶよ。○くんも○さんも同じチームで野球をやっているよ。 4 話し合いの感想発表 T グループで話し合いをして、どのような感想をもちましたか。 C 男らしい、女らしいは、人によって考え方が違う。 C 男らしい、女らしいには決まりがないものもあると思った。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えて、ワークシート2に記入させる。 ・児童がワークシート2に書いた内容を板書することで、児童の見方や考え方を広げる。 ・男女それぞれの意識が理解できるよう、話し合うグループは男女混合とする。 ◎グループの話し合いに加わり、「男の子のよさは」を「女の子のよさは」に言い換えて違和感があるかなどと助言する。(価値・態度) ・「男の子のよさ」「女の子のよさ」の板書を利用し、男女を置き換えても違和感がないことを確認する。 ・身体的な特徴など、男女の性差が明らかかなものもあることをおさえる。

	<p>5 性のとらえ方を知る</p> <p>T 性のとらえ方には「からだの性」の他、「こころの性」「好きになる性」など複数あります。男らしさ、女らしさは、服装や世の中での振る舞いなど「表現する性」です。</p> <p>T 性のあり方は多様です。「男だから、女だからこうしなくてはならない」という決まりはありません。違いは個性です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 性のあり方は多様であることを理解させるために、「からだの性」など四つの性について説明する。 <p>◎性のあり方は多様であり、そのあり方は、人によって違うことを伝える。(知識)</p>
<p>12分</p>	<p>6 振り返り</p> <p>T アクティビティーを通して、どのようなことを感じましたか。ワークシートに書きましょう。</p> <p>7 「性のものさし」</p> <p>T 「性のものさし」を使って、自分の性はどのあたりに位置するのか、考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに記入した感想を話し合い、性のあり方は多様であることを確認する。 「性のものさし」は秘匿にしたい児童もいるので、記入ではなく心の中で考えるだけでよいと伝える。 「性のものさし」について、発表させたり友達と話し合ったりしないよう伝える。

IV 資料

(1) 提示資料 (性のものさし)

「性のものさし」					
からだの性		女		男	
こころの性	女				男
表現する性	女				男
好きになる性	女				男

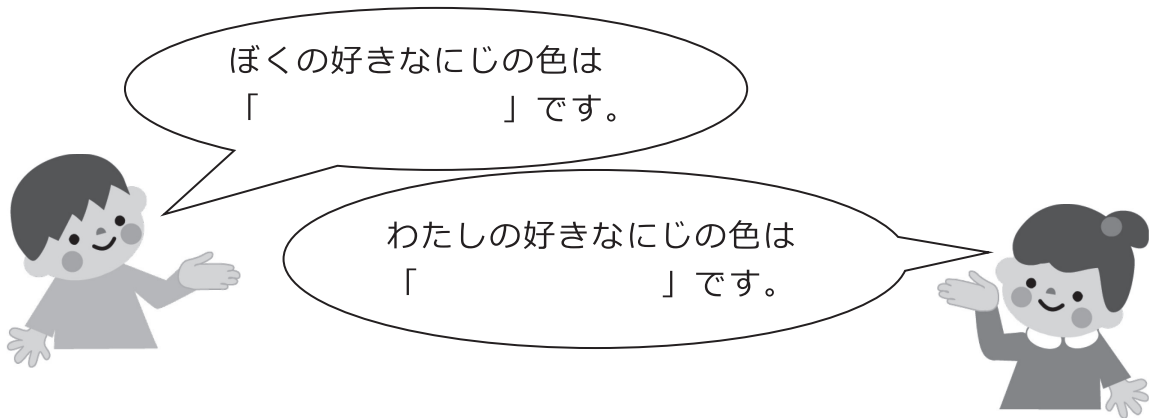
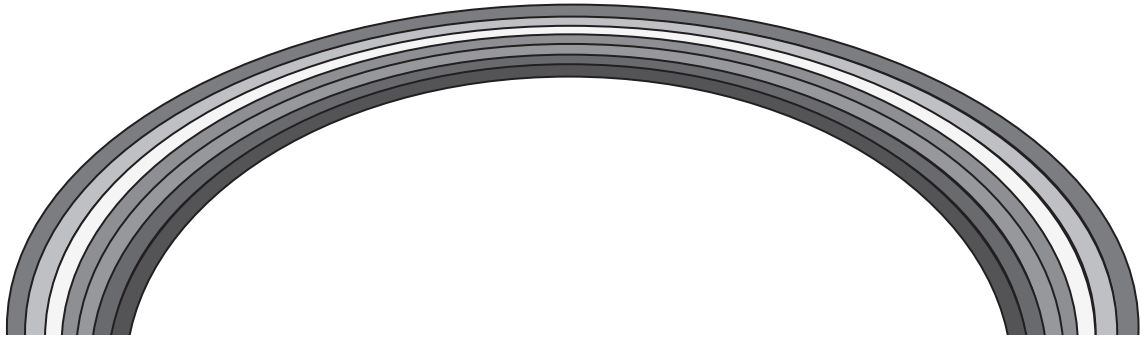
- ※ 「からだの性」 : 生まれた時の性
- 「こころの性」 : 自分がどの性別と感じているかの性
- 「表現する性」 : 服装や振る舞いなど、男/女らしさの性
- 「好きになる性」 : 好きになる相手の性

(2) ワークシート1

好きなにじの色は？

() 年 () 組 名前 _____

1 次の吹き出しに言葉を書きましょう。



入れる言葉
「赤色」「だいたい色」「黄色」「緑色」「水色」「青色」「むらさき色」

2 男の子の好きなにじの色を決めた理由を書きましょう。

3 女の子の好きなにじの色を決めた理由を書きましょう。

(3) ワークシート2

男らしさ、女らしさってなんだろう？

()年()組 名前 _____

1 次の文の続きを書きましょう。(いくつ書いてもかまいません。)

○男の子のよさは

○女の子のよさは

2 学習した感想を書きましょう。

V 出典・参考資料

- 「人権教育実践資料3 性の多様性を認め合う児童生徒の育成Ⅱ」
(平成30年3月) 倉敷市教育委員会